



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

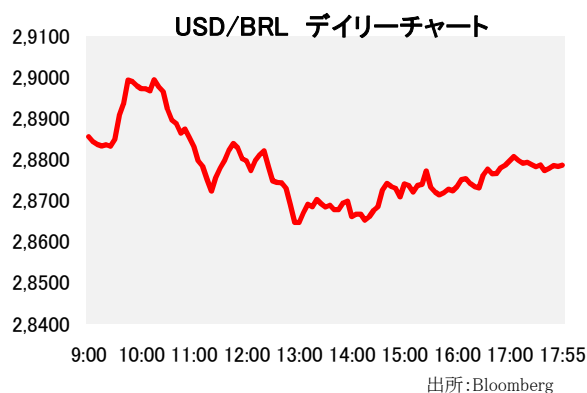
1. マーケット・レート

			2月13日	2月18日	2月19日	2月20日	2月23日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2,8350	2,8390	2,8670	2,8700	2,8790	+0,0090
	BRL/JPY	Spot	41,92	41,84	41,54	41,51	41,28	-0,23
	EUR/USD	Spot	1,1389	1,1380	1,1361	1,1400	1,1332	-0,0068
	USD/JPY	Spot	118,78	118,70	119,00	119,09	118,83	-0,26
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12,510	12,955	13,010	13,031	13,035	+0,004
	Future	1Year(p.a.)	12,810	13,155	13,238	13,270	13,255	-0,015
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	1,780	1,806	1,703	1,778	1,794	+0,016
		1Year(p.a.)	2,446	2,443	2,369	2,383	2,470	+0,087
株式	Bovespa指数		50.636	51.280	51.294	51.238	51.281	43
CDS	CDS Brazil 5y		238,23	230,00	236,61	242,00	242,20	+0,20
商品	CRB指数		229,190	227,275	226,254	224,758	221,965	-2,79

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

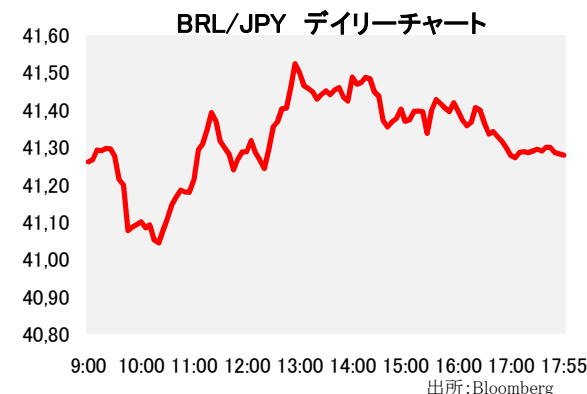
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	1.08%	1.08%	1.27%
CNI産業信頼感	--	40.2	44.4
貿易収支(週次)	--	-\$576M	-\$25M
(米)シカゴ連銀全米活動指数	0.15	0.13	-0.07
(米)中古住宅販売件数	4.95M	4.82M	5.07M
(米)ダウ連銀製造業活動	-4.0	-11.2	-4.4



3. 要人コメント

レヴィ 伯財務相	中銀はレアル相場のボラティリティを減らすよう努めている
----------	-----------------------------



4. トピックス

- 本日の為替相場は2.8760で寄り付いた。
- 週末に発表されたロシア国債の格下げを受けて本日はリスク資産の売りが優勢となり、レアルは寄り付き後、つられて売りが優勢となった。レアルは直ぐさま本日の安値となる2.9040を付け、約10年振りの低水準に達した後、米シカゴ連銀全米活動指数と中古住宅販売件数が予想を下回ったことからドルが対主要通貨で下落、レアルは本日の高値となる2.8630まで反発した。午後にかけては2.87台後半まで小緩み、結局2.8790でクローズした。
- その他にレヴィ伯財務相は本日記者会見でインフレに対する懸念を示したほか、中銀はレアル相場のボラティリティを減らすために努力していることを告げたが、3月末に終了するドル売り介入プログラムを延長するかどうか疑問が残っており、方向感が読みにくい状態となっている。尚、本日早朝に伯中銀による週間エコノミストサーベイが発表され、2015年末の予想ドル・レアルは2.90に据え置かれたほか、2015年度末のGDP成長率は-0.42%から-0.50%に下方修正された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。